

令和 3 年 9 月 2 日  
午前・午後 11 時 50 分 受領

No. 1

議長	事務局長	係
		

令和 3 年 9 月 1 日

愛南町議会議長 原田 達也 殿

愛南町議会議員

石川 秀夫



## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

( 答弁一括方式 ・ 答弁分割方式 )

質 問 の 要 旨	答弁を求める者
<p>1. デジタル トランスフォーメーション DXと愛南町の今後の取り組みについて</p> <p>2021 年 9 月 1 日にデジタル庁がデジタル トランスフォーメーションの推進を目的に政府に設置されました。</p> <p>国から地方自治体まで情報をデジタル化するだけでなく情報のオープン・透明性と迅速化を進め業務改善が大きく進められ、住民の利便性やサービスも大幅に向上できると期待をされています。</p> <p>マイナンバーカードで各種行政サービスを自宅で受けられたり、保険証の代わりに医療サービスも受けられたり、免許証の代わりになる可能性もあります。現在行っている一般の窓口サービスや一般事務作業についてもデジタル化され業務の改善が行われると予想されます。</p> <p>そこでお伺いたします。</p> <p>(1) 行政情報がすべてデジタル化されオープン・透明性を推進するための愛南町として今後どのように取り組みをされるのか？</p> <p>(2) このデジタルトランスフォーメーションを推進するためには、一番の課題は、人材育成だと思いますが、</p>	町長

<p>何時迄に、どの様に取り組みられるのか？</p> <p>(3) 人口減少が続く中でデジタル トランスフォーメーションと愛南町が目指すべきビジョンはどの様にお考えになっているのか？</p>	
<p>お伺い致します。</p>	
<p>2. コロナ対策について</p>	町長
<p>愛南町のコロナワクチンの接種率は、9月1日付けの新聞報道によれば8月30日で2回目の接種が61.6%でトップの上島町に比べて23ポイント程低い値になっております。</p>	
<p>特に20代、30代の接種比率が低いことが懸念されます。また、愛媛県が感染対策期での8月13日付け要請をされているリモートワーク、時差出勤も愛南町の庁舎内を見渡すと誰一人として対応している様子はなく、町民に愛南町から不要不急の自粛要請をしている中で事業者への手本となるべき愛南町の取り組み姿勢としては非常に残念な状況だと思います。</p>	
<p>そこでお伺いいたします。</p>	
<p>(1) 現在の愛南町の2回目の接種率と20代、30代の接種率とこの世代の接種要請についてどのように対応されているか？ 接種予約の状況についてはどうか？</p>	
<p>(2) 愛南町役場職員のリモートワークと時差出勤の現状と導入をする上での課題と今後の取り組みについてどのような計画か？</p>	
<p>(3) リモートワークと時差出勤について愛南町の事業者の実施状況と今後の要請についての取り組みについてどのような計画をしているか？</p>	
<p>お伺いいたします。</p>	

### 3. 愛南町学校再編について

教育長

このコロナ禍での僧都小学校が来年の春に閉校の手続きを進めると先日の全員協議会で報告を頂きました。

また、去年教育委員会から諮問されておりました学校再編について8月12日に「これからの望ましい教育環境と学校再編について」藤田一郎学校統廃合検討会委員長から中村教育長に提出しております。小学校5校、中学2校として今後、教育委員会はこの答申を尊重して再編協議を地域と予定として、学校再編計画を策定すると聞いております。

生徒にとって望ましい、地域や保護者にとって本当に望ましい愛南町の学校教育になっているのか？過疎の町での今後のデジタル社会を生き抜くための教育のあるべき姿についてお伺いいたします。

- (1) このコロナ禍で急いで僧都小学校の閉校を予定をしているがコロナが収束してからでも良いと思うが、閉校を急ぐ理由は何か？

将来の保護者の為に休校とゆう選択もあると思うが急いで閉校をする理由は何か？

- (2) 教育委員会から去年学校統廃合委員会への諮問内容は、小学校の望ましい規模、中学校の望ましい規模や再編時期、枠組みを要請しているが、望ましい規模の定義や具体的な時期についてどのように諮問したのか？

- (3) 小学校、中学校と分けてそれぞれ望ましい規模で諮問されているが、地域ごとに残すために小中一貫校の検討は諮問されなかったのか？

将来の保護者や地域住民にとって生徒や学校は地域の宝です。学校をいかに残すか？検討員会を立ち上げる

予定はないか？

以上お伺いいたします。

4. あこや真珠貝のへい死対策について

愛南町の基幹産業の一つである真珠養殖業者の経営が2019年からのあこや貝のへい死が今年も発生して50%～90%の影響を受けております。

母貝業者だけでなく玉入れ業者にも影響を受けて真珠業界全体の経営、経営継続課題となっております。

あこやがいへい死対策協議会も開催されているようですが、いまだ原因の特定と対策が見えていないとお聞きしております。

そこでお伺い致します。

(1) 愛南町として影響を受けている業者について緊急経営対策は具体的に計画されているのか？

愛媛県、国への緊急経営対策の要請は行う予定はありますか？

お伺いいたします。

町長